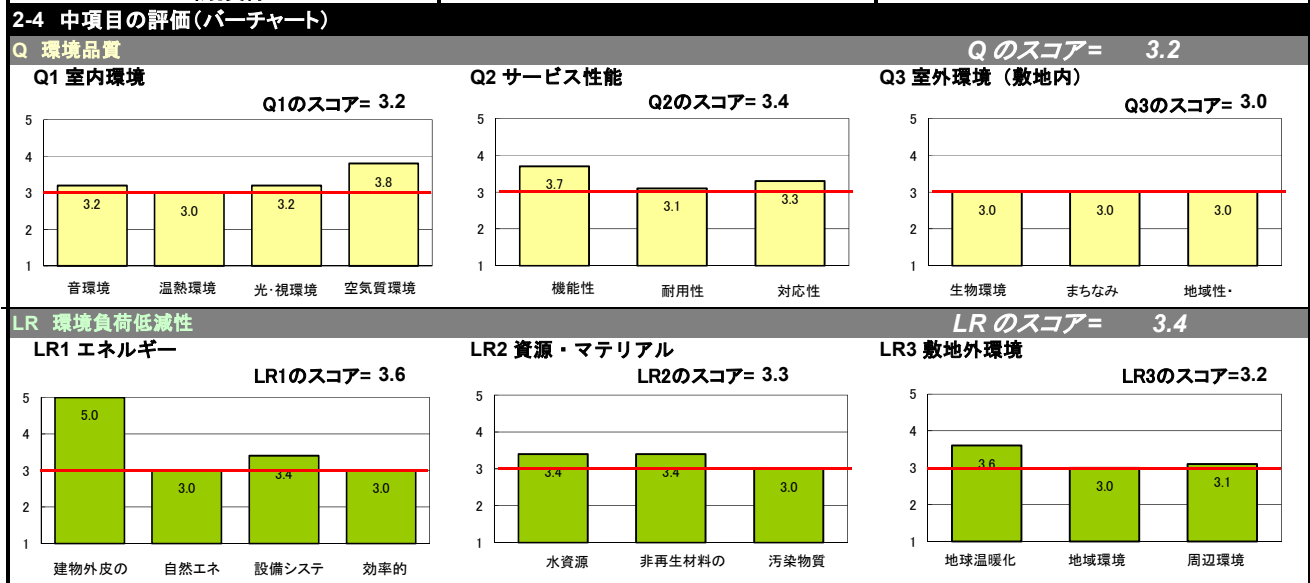
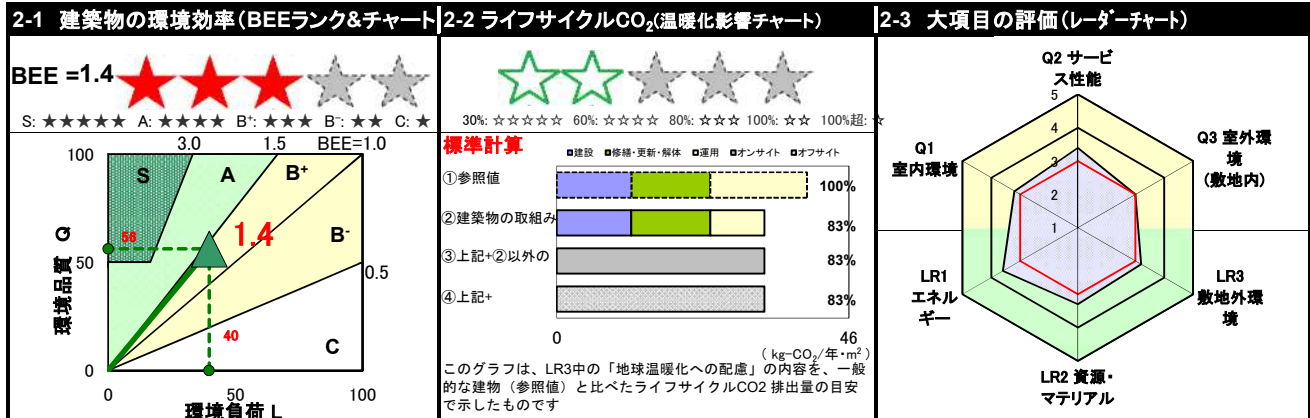


CASBEE®-建築(新築) 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_連絡版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	東播磨地域新設特別支援学校(仮称)	階数	地上4階
建設地	加古川市平荘町山角467番地他233	構造	RC造
用途地域	都市計画区域外	平均居住人員	260 人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,440 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2027年3月 予定	評価の実施日	2024年8月30日
敷地面積	19,424 m ²	作成者	前田英男
建築面積	1,788 m ²	確認日	2024年8月30日
延床面積	5,086 m ²	確認者	皆川貴弘



3 設計上の配慮事項		
総合 増え続ける知的障害の生徒に対して学習環境の狭隘化が問題となっている。解決のため既存小学校の改修と新築校舎を合築して新たな特別支援学校を作り、地域の平準化を図る取り組み。		その他 既存校舎は地元から愛されており、この校舎配置を活かしながら新築の増築校舎を計画した。南北軸の校舎配置となり環境的には不利であるが、地元要望を活かしながら計画を行う。
Q1 室内環境 窓部における、既設による太陽の高さの変化を考慮した、垂直ルーバー、エキスパンドメタルを採用	Q2 サービス性能 教室の天井高を2.7m以上とし、クールダウンスペースやテラスを適切に設けることで利用者の快適性を高めている。	Q3 室外環境(敷地内) 周辺環境に配慮し、敷地境界線沿いには植栽を積極的に設けている。また、既存樹木をできる限り残した計画としている。
LR1 エネルギー LED照明を採用し省エネに配慮している。トイレに人感センサーを採用している。	LR2 資源・マテリアル 節水マなどに加えて、節水型便器も採用している。地中梁に高炉セメントを用いている。 床: タイルカーペット、ビニル床シート、基礎砕石:再生砕石 LGSとGLT法を使用している。	LR3 敷地外環境 燃焼機器は使用せず、大気汚染防止に配慮している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される